



# 川崎小だより

## 『学校教育目標』

自分らしさを発揮し、心豊かに、たくましく生きる「川崎っ子」の育成を目指す。

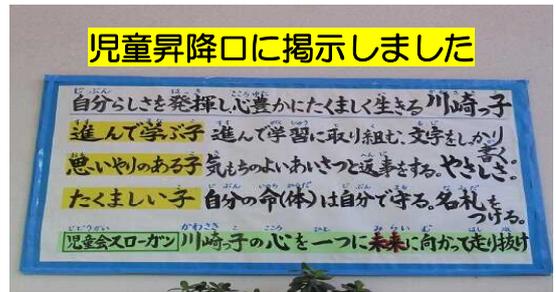
- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- たくましい子



明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝でお過ごしのことと推察申し上げます。新しい生活様式及び国・県・市のコロナ禍対応を受けて2021年に突入しましたが、2月7日まで緊急事態宣言下となりました。そんな状況下であっても川崎っ子の頑張り（知・徳・体）は、加速を続けています。**未来**を拓く子ども達に負けぬよう、子ども達の進むべき**未来**をサポートできるよう、教職員一同、志を新たに令和3年（丑年）に向かいます。常日頃より子ども達を見守り、ご支援・ご協力をいただいている保護者や地域の皆様のご厚情に感謝申し上げます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

## 全校体制で力を入れています

- **進んで学ぶ子**
  - ・進んで学習に取り組みます。
  - ・文字をしっかりと書きます。
- **思いやりのある子**
  - ・気持ちのよいあいさつと返事をします。
  - ・やさしい気持ちで生活します。
- **たくましい子**
  - ・自分の命（体）は自分で守ります。
  - ・川崎小学校の児童の証「名札」を付けます。



## 学校生活を振り返って

### リモート冬休み前集会(12/28)

校長先生と「キャリアシート」を使って「2学期前半の振り返り」をしました。児童指導主任と保健主事の先生から冬休みの安全な過ごし方について話を聞きました。学校生活2020年のまとめをしました。どの学年の児童もしっかりと話を聞きました。



### リモート冬休み後集会(1/5)

「キャリアシート」を使って未来に向かうための目標設定をし、力強い文字で「自分のめあて」を記入しました。学習指導主任の先生から「現学年の学習内容は現学年のうちにしっかりと身に付けよう」という話があり背筋を伸ばしました。



### 地区別登下校班のふいかえり(1/18)

安全な登下校の為に月1回の地区登下校班のふいかえりを実施しています。一斉下校の際には、担当の先生も児童と歩きながら危険箇所を確認して下校の様子を見守ります。この取組は、「たくましい子部会」の先生方からの提案で2学期から全校体制で実践しています。保護者の皆さま、地域の皆さまの見守りの下、児童が安心して登下校できることに感謝しております。



### 入学説明会(1/15)

令和3年度入学生保護者対象「入学説明会」がありました。新1年生が川崎小学校に夢と希望をもって入学されますことを、職員一同、在校生一同願っております。ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



## なかよし班交流活動(1/20)

キラリタイムに、なかよし班交流活動「へびおに」を全校生で楽しみました。これは「思いやりのある子部会」の先生方が企画した交流会です。大寒ではありましたが、天気にも恵まれ元気に活動することができました。なかよし班班長の6年生が準備と片付けを率先して行いました。さすがです。



## 無言清掃



毎週火・木曜日は、なかよし班による清掃です。どの清掃分担場所も無言清掃が定着しました。よく働く自慢の川崎っ子です。



## 村上雅之教育長とお話をする会(1/21)

学年毎に「教育長とお話をする会」がありました。これは、保護者の皆様宛文書「矢板市川崎小学校の適正配置について」(令和3年1月4日付矢教第404号)でお知らせがあった事項です。矢板市教育委員会 村上雅之教育長が各教室を訪問し、学年の発達の段階に合わせて子供たちに丁寧にお話をされました。以下がその内容です。

- 147年の伝統ある川崎小学校は、令和5年4月に矢板小学校と一つになること。
- 学校の規模が大きくなると友達も増え、いろいろな人がいて高め合う(切磋琢磨し合う)ことができ、クラス替えがあったりして人との触れ合いも多くなりコミュニケーション能力も高まること。
- 学校を一つにすることで教育環境や施設に係るお金をまとめて効率的に活用できること。
- 2年間の準備期間で矢板小学校の児童とどの学年も交流会をもって親睦を深めていくこと。
- お家の人との話合いで東小学校に行ってもよいなど学校を選べること。

子供たちからは

- ゆきちゃん(川崎小学校のウサギ)はどうなるんですか？
- どうして矢板市は、タブレットが一番先に使えるようになったのですか？
- 川小の伝統行事(田植え・稲刈り・川小まつり等)は、矢板小学校に行ったらどうなるのですか？
- 川崎小学校の校舎は、令和5年度からどのように利用するのですか？
- 矢板小学校との交流会はどんなイベントをするのですか？
- 来年度や再来年度の入学生はどのように学校を決めるのですか？

と純粋で素朴な質問がたくさん出ました。教育長は、それに一つ一つ丁寧にお応えくださり、子供たちも「分かりました。ありがとうございました。」と返しました。

- また、卒業していく6年生からは、以下のような自分の考え・思い・希望をしっかりとお伝えしました。
- 母校がなくなるのは寂しいけれど、下級生が大きな学校に行き友達も増え競い合うことができるのは良いことだと思います。そこで良い学校、良い社会(矢板市)をつくってほしいと思います。僕たちも川崎小学校の卒業生として誇りをもって中学校に行きたいです。
  - 川崎小学校がなくなることは寂しいけれど、下級生が大きな学校に行くと友達も増え、僕たちが小学校で経験したことの出来ないクラス替えを経験できることはいいことだと思います。いろいろな友達ができると思います。
  - 僕たちの後輩が、友達も増え、他のクラスの友達とも仲良くできる機会ができるということはいいいことだと思います。けれど、川崎小学校だからできたことがたくさんあり、先生方にもよく見てもらいました。小さい学校だからできたことを、大きな学校でもできるようにしてもらえたらいいなと思います。
  - 川崎小学校は、エアコンが整備され、大型テレビや放送の設備もあり、ネット回線も整っています。そんな川崎小を別な施設に活用していただけたらいいと思います。タイムカプセルのことが心配です。

校長・教頭が、それぞれの学級での「教育長とお話をする会」に担任と一緒に参加しましたが、子供たちが真剣に教育長の話を聞いている様子や自分の考えをしっかりと発言している姿に心が熱くなりました。間違いなく124人の子供たちは、学校教育目標「自分らしさを発揮し心豊かにたくましく生きる川崎っ子」に成長しているのだと確信しました。今、自分ができることなすべきことをしっかり行い、一人一人が未来を目指し「切磋琢磨」していきます。

**子供たちは大変立派でした。矢板市の未来を拓く川崎っ子に幸あれ！**

## 学校行事等の中止・延期、来年度以降の学校行事について

**新たに変更・修正が生じた内容** 前回お知らせした内容は省略しました。

- ・令和3年度入学式4月12日(月)▶1年生・1年生保護者2名・担当教職員・市教育委員会1名 出席、2~6年生教室からオンライン参観、来賓出席無し
- ・令和3年度PTA総会▶紙面決裁、4月23日(金)授業参観(5校時)実施、学年PTA・PTA専門部会はコロナ禍感染症予防対策を講じて時間短縮で実施

※ 来年度の教育課程編成の時期を迎えています。コロナ禍対応の苦渋の決断にご理解をお願いいたします。

★ 上記記事以外にも児童の活動や学校の取組を「川崎小学校ホームページ」で紹介しています。